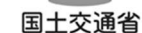




回答例

年間輸送傾向調査票（倉庫業）（令和6年4月～7年3月）

所管する倉庫が2つ以上ある場合は、倉庫種別または倉庫所在地の市区町村が異なるごとに調査票をかえてご記入下さい。



国土交通省

※	県No	業種No	事業所No	

(※印は記入しないで下さい)

年間輸送傾向調査票（倉庫業）の回答例

【福岡県の倉庫業（米倉庫）の例】

- a** 福岡県の倉庫業（米倉庫）から米を3,600トンを入出庫高しており、京都府・大阪府・兵庫県の米問屋向けの1,080トン（全体の30%）は、鉄道を利用して出荷している。広島県・山口県・福岡県内の米問屋向けの2,520トン（全体の70%）は、営業用トラックで高速道路を利用して出荷している。（問2. 入庫高・出庫高・輸送機関利用状況へ回答）
- b** 入荷、出荷に関して高速道路を利用する場合は、北九州都市高速道路の戸畑インターチェンジを利用している。（問3. 高速道路インターチェンジへ回答）
- c** 京都府向けに180トン（全体の5%）・大阪府向けに720トン（全体の20%）・兵庫県向けに180トン（全体の5%）・広島県向けに720トン（全体の20%）・山口県向けに360トン（全体の10%）・福岡県内には1,440トン（全体40%）出荷した。（問4. 屈先地別重量割合へ回答）
- d** 4月～8月は出荷なし。9月は252トン（全体の7%）、10月は1,440トン（全体の40%）、11月・12月は720トン（全体の20%）、1月・2月は180トン（全体の5%）、3月は108トン（全体の3%）出荷した。（問5. 月別重量割合へ回答）

政府統計

ご記入にあたっては、「回答の手引」をご参照下さい。

問1. 貴事業所・対象倉庫に関してご記入下さい。

※1. 貴事業所 対象倉庫に因りて記入下さい。									
事業所名	対象倉庫従業者数 (令和7年9月末日現在)		人	対象倉庫の面容貌積 (令和7年9月末日現在) ご回答いただく対象倉庫のみの面容貌積をご記入下さい。		1類・2類・3類倉庫 4,400㎡		冷蔵倉庫	㎡
事業所所在地	Tel. (市外局番) -()-()-		対象倉庫敷地面積 (令和7年9月末日現在)	㎡	危険品倉庫 タンク 貯蔵そう倉庫	建屋	㎡	野積倉庫	㎡
						タンク	㎡	水面倉庫	㎡
						貯蔵そう倉庫	㎡		
対象倉庫所在地	都道府県	市郡区町村	現在の所在地で 操業を開始した年		大正以前・昭和・平成・令和 (年については昭和34年以前は具体的な年の記入の必要はありません。)	50年	ご回答者名		

問2. 令和6年度における入庫・出庫高（実重量）をご記入下さい。

次に、出庫に際しての輸送機関別重量割合（%……小数点以下四捨五入）をご記入下さい。

次に、出庫に際しての輸送機関別重量割合（％）（小数点以下四捨五入）を記入して下さい。

品 類 「品類・品目分類表」の品 類を参考してください	入庫高（トン）	出庫高（トン）	輸送機関利用状況（％）						
			合計	鉄道	自家用 トラック	営業用 トラック	海運	航空	その他
農 水 産 品	a 3,600	3,600	100%	30		70			
林 産 品			100%						
鉱 産 品			100%						
金属機械工業品			100%						
化 学 工 業 品			100%						
軽 工 業 品			100%						
雑 工 業 品			100%						
排 出 物			100%						
特 殊 品			100%						
合 計	3,600	3,600							

問3. 入庫・出庫（国内輸送）に際して、鉄道・海運・航空および高速道路を利用している場合、その主な利用鉄道貨物駅、港湾、空港、インターチェンジ名をご記入下さい。

施設 区分	鉄道貨物駅	湾 港	空 港	高速道路 インターチェンジ
入 庫				b 戸畑
出 庫				戸畑

入庫高・出庫高(トン)
貨物の実重量をトン単位でご回答下さい。
通常使用している数量でご回答の場合には
「回答の手引」を参考のうえ、ご回答下さい。

輸送機関

- ① 2つ以上の輸送機関で積替え輸送された場合は、その中で最も輸送距離の長い輸送機関を、それぞれの出荷の輸送機関とみなして下さい。
- ② 輸出手の場合は、貨事業所から輸出貨港または輸出自空港までの輸送で、最も輸送距離の長いものを、それぞれの出荷の輸送機関とみなして下さい。ただし、貨事業所内の専用埠頭から輸出した場合の利用輸送機関は、「その他」として下さい。
- ③ トラック、トレーラーなどによる輸送で、一部の区間でフェリーを利用しても（被牽引車のみの場合も含む）、輸送機関はトラックとします。
- ④ 営業用トラックとは、運送業者に委託するトラック輸送を指します。
- ⑤ その他とは、パイプライン・ベルトコンベア・自走など、鉄道・自家用トラック・営業用トラック・海運・航空以外の輸送機関を指します。

問4. 問2. の出庫高合計重量を 100 とした場合の貨物の届先地別重量割合（%：小数点以下四捨五入）をご記入下さい。

届先地	重量割合	届先地	重量割合
1 北海道		25 滋 賀	— — —
2 青 森		26 京 都	5
3 岩 手		27 大 阪	20
4 宮 城		28 兵 庫	5
5 秋 田		29 奈 良	—
6 山 形		30 和歌山	—
7 福 島		31 鳥 取	—
8 茨 城		32 島 根	—
9 栃 木		33 岡 山	—
10 群 馬		34 広 島	20
11 埼 玉		35 山 口	10
12 千 葉		36 徳 島	—
13 東 京		37 香 川	—
14 神奈川		38 愛 媛	—
15 新 潟		39 高 知	—
16 富 山		40 福 岡	40
17 石 川		41 佐 賀	— — —
18 福 井		42 長 崎	C
19 山 梨		43 熊 本	—
20 長 野		44 大 分	—
21 岐 阜		45 宮 崎	—
22 静 岡		46 鹿兒島	—
23 愛 知		47 沖 縄	—
24 三 重		合 計	100%
		うち外国	—

問5.問2.の出庫高合計重量を100とした場合の貨物の月別重量割合(%:小数点以下四捨五入)をご記入下さい。

月	重量割合
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	7
10月	40
11月	20
12月	20
1月	5
2月	5
3月	3
合計	100%

